

高浜市やきものの里かわら美術館

館蔵古瓦展

—奈良時代の瓦—



(岐阜県：大杉廃寺 素弁蓮華文軒丸瓦)

奈良時代は、平城京が都として整備される中、宮殿（平城宮）や興福寺・大安寺・東大寺といった大寺院が續々と造営されました。また、各国ごとには国分僧寺・国分尼寺が建立されていき、瓦の需要は一層高まっていきました。この時代の軒先に葺かれた軒丸瓦と軒平瓦の文様は、大きく宮殿の瓦と寺院の瓦の2つに分けられ、さらに地域によっては個性溢れる瓦の文様が見受けられるようになっていきます。

今回の展覧会は、かわら美術館が開館以来10年以上にわたって収集してきた奈良時代の古瓦の数々を一挙公開し、日本の古代瓦がもつ世界をご紹介します。

- 開催期間** 平成18年10月14日(土)～11月19日(日)
観覧時間 午前9時から午後5時まで (観覧券の販売は午後4時30分まで)
観覧料 高校生以上160円 (200円)、中学生以下無料
※ () 内は市外在住の方の料金です。
休館日 月曜日



兵庫：溝口廃寺
複弁蓮華文軒丸瓦



奈良：平松廃寺
複弁蓮華文軒丸瓦

問合せ先 高浜市かわら美術館 ☎52-3366